



嘉数 誠 教授が応用物理学会より APEX/JJAP 編集貢献賞を受賞

【概要】

電気電子工学部門 嘉数 誠 教授が、応用物理学会より APEX/JJAP 編集貢献賞を受賞しました。APEX と JJAP は応用物理学会が発刊する国際的な学術論文誌で、長年の編集委員としての功績が高く評価されました。

【本文】

応用物理学会が刊行する国際的な学術論文誌である Applied Physics Express (APEX) と Japanese Journal of Applied Physics (JJAP) は、半導体、超伝導、エレクトロニクス、プラズマといった応用物理の分野で、大学や企業の研究者による発見や発明を、世界中に情報発信する極めて重要な役割を担っております。両学術論文誌は、日本の応用物理学会が責任編集をしていますが、重要な学術成果は、日本だけでなく、米国、欧州の研究者からも多数掲載されます。例えば、ノーベル賞の赤崎勇先生、天野浩先生、中村修二先生の青色発光ダイオードなどの研究成果も、両学術誌に多数掲載されました。

このような学術論文誌では、編集委員が、投稿された全ての論文に対して、匿名で選ばれた査読者によるコメントをもとに、学術的な価値の有無や論文に誤りはないかなど、掲載の可否を最終的に決定しており、編集委員は、学術的に高い判断力と中立性が要求されます。

電気電子工学部門 嘉数 誠 教授は、この編集委員の一人として、2012年からその職にあり、これまで一千件近くの論文の審査を行っています。本貢献賞は、嘉数教授の編集委員としての学会への貢献に対して贈られたものです。

嘉数 誠 教授の、今後の我が国と世界の科学技術の発展への貢献が期待されます。

※参考：賞のホームページ

<https://www.jsap.or.jp/apex-jjap-editorial-award/recipients>

